

輸出事業計画

※申請者名：さつまいもの輸出を促進するコンソーシアム

品目：さつまいも加工品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・ さつまいもの加工品の加工技術（熟成(追熟)、焼き、ペースト化、パウダー化等）は、全てにおいて海外のメーカーでは一朝一夕にマネできるものではないため、このノウハウはコンソーシアムの商品の規格を確立するための基礎と考えている。
- ・ 国内市場の縮小に伴い、海外市場に目を向け、日本産さつまいも・さつまいも加工品の品質とそのブランド価値の確立を目指す。また、次世代の農業従事者の確保と育成、病害対策の強化等による品質管理と収穫量の確保も目的として活動
- ・ さつまいも加工品：冷凍焼き芋、焼き芋ペースト、蒸し芋ペースト、パウダー、紫芋ペースト、紫芋パウダー等

【課題】

<生産>

- ・ 高齢化による生産労働力の減少に対応するため、新たな農業従事者の育成と確保を行う必要がある。

<流通>

- ・ 米国東海岸側は冷蔵冷凍保管庫の数が少ないことから、日本からの輸出に向けて安定的なサプライチェーンを確立する必要がある。

<販売>

- ・ ターゲット地域の市場ニーズを、その時々によって変化するブーム等の時流も読みながら的確に把握するためには現地消費者行動を理解し、その時最も現地消費者向けにPR効果の高い手段（対面・試食宣伝やデジタル・SNS等の活用など）を選択し、販促活動を行う必要がある。
- ・ 現地サプライチェーン確立に向けて食品関連企業や流通業者とのパートナーシップを確立する必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

<生産>

- ・ 新たな農業従事者の育成と確保を目指して、海外の販路開拓の魅力を伝えるセミナーを実施。将来を担う若者に対して、この事業の重要性を伝える機会を設ける。
- ・ 主にコンソーシアムメンバーに対し、展示会出展やマーケティング調査終了後にその結果を報告することで海外市場への理解を深め、海外市場の可能性や魅力を理解してもらい、コンソーシアム内の農業従事者の確保に繋げる。

<流通>

- ・ 米国現地までのサプライチェーンの確立に向け、現地事業者との連携を強化する。

<販売>

- ・ ターゲット（北米、インド）地域の市場ニーズや消費者行動を理解するための市場調査を継続的に実施する。
- ・ アメリカでの販促イベント実施にあたり、さつまいもの加工品の栄養成分検査を最大9品目（焼きいもペースト：紫芋、安納芋、ベニハルカ。パウダー：紫芋、安納芋、ベニハルカ。干し芋：ベニハルカ。レトルトやい焼き芋：ベニハルカ、安納芋）を実施し、アメリカ向け輸出の準備を進める。販促イベントにおいてアンケートを実施し、必要に応じて商品改良に繋げる。また、パンフレットやポスターを制作し、広報にも注力する。
- ・ インスタグラムの専用のアカウントを作り、全てのミーティング、マーケティング活動、販促イベント、セミナー等の記事、リール動画をアップしてフォロー数を増やす。また、フォロー数5-10万以上のインスタグラマー（シェフ、調理師、栄養士、トレーナー等食に関わる活動家に声をかけて、さつまいも加工品を食べている動画インタビューを撮影しフォローし合う。
- ・ アメリカのBtoBマーケティングに効果があるRangemeのプロアカウント（有料）に登録し、さつまいもの商品（冷凍焼き芋、焼きいもペースト、さつまいもパウダー、干し芋）登録しアメリカのスーパーマーケット等へ商品の提案を進める

輸出事業計画

※申請者名：さつまいもの輸出を促進するコンソーシアム

品目：さつまいも加工品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

さつまいもの輸出を促進するコンソーシアムのメンバーと役割

さつまいも(生産) 商品加工(開発)	有限会社南橋商事 株式会社アグリ・コーポレーション 株式会社海運
商社(輸出・立案) 事務局 (運営・育成)	事務局：小早株式会社 株式会社SAMURAI Summit 東シナ海の小さな島ブランド株式会社
海外提携 (調査・活動)	RESOBOX, Inc (米) EIJ株式会社 (印)
大学・研究施設 (教育・改良)	鹿児島大学、等



連携



JETRO
・輸出先国の概況把握 ・展示会、商談会情報

鹿児島県
・展示会への出展 ・商談先の紹介

【計画の策定(P)】

会員企業及びJETROからの現地情報/規制情報や現地訪問によるニーズ把握に基づき、輸出事業計画を検討

【事業の実施(D)】

計画に基づき、国内・海外での商談会・フェア販売等へ参加し、輸出を実施

【改善(A)】

上記のフィードバック等を通じて現地消費者の求める商品製造・改善に着手

【評価・検証(C)】

輸出の進捗状況について、商社・JETROや現地訪問で把握した販売状況等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直し

4. 輸出目標額

	【現状】 (令和4年度)	【目標】 (令和8年度)
輸出額(千円)	0	380,190
輸出量(t)	0	289
主な輸出先	-	米国・インド